事務事業評価シート				【事後評価	1			
会計	款	項	目	事業コー	事業コード 事業名			
01	10	06	01	10469	0	スポーツ大会・合宿誘致推進事業費		
総合計画	分野	03 <i>)</i>	べくり		政策	04 スポーツの振興		
計画	施策	03 ナ	、規模ス	ポーツ大会	の開催			
目的	交流人 誘致を		てを図り、	スポーツ	に接す	る機会を提供するため、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿の		
対象	はなまきスポーツコンベンションビューロー、花巻市体育協会							
意図	交流人	口の拡大	てを図り、	スポーツ	に接す	る機会を提供する。		
事業概要	スポーツ大会・合宿誘致推進事業 8,167千円 はなまきスポーツコンベンションビューロー負担金の支出 スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助金の交付 スポーツ合宿支援事業補助金の交付							

市民参画の 有無

市	民協働の形態 共催	実行委員会・協議会	・協定	後担	爰・協賛		補助・助成	委託	
1,13	八世	単位	区分	H30	Ч	H31	RO2		
\vdash		活動指標		丰田					NUZ
1	全国規模のスポーツ大会	宗誘致件数		/#-	計画	6.0	00	6.00	
Ľ				件	実績	7.0	00	5.00	
2	スポーツ合宿誘致件数			件	計画	6.0	00	6.00	
				1+	実績	10.0	00	7.00	
3					計画				
					実績				
		成果指標		単位	区分	H30		H31	R02
1	大規模スポーツ大会・イ	ベントの入込者数		1	目標	195,000	.0	195,000.0	
Ľ				人	実績	133,911	.0	144,933.0	
2					目標				
Ľ			実績						
3			目標			·			
3			実績						
	成果指標の達成度	概ね目	標値どる	おり		目標値よ	り低い		

成罗	と 目	標の達成度の要因分析(成果指揮	標を設定しない場合は、その理由を記載)						
	全国大会数は減となっているが、東北大会の開催数は平成30年度より11大会増加し、入込者数は増加している。 はなまきスポーツコンベンションビューローでの誘致活動の浸透によるところが大きい								
目	公共	共関与の妥当性	高速交通網の利便性や全国有数の温泉宿泊施設、充実したスポーツ施設な						
剪	П	妥当である	どの地域特性を生かし、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致に						
的妥当性		見直し余地がある	SON X/III/NOW IOVIII/NEED WXXII WW.						
性		妥当でない							
	成具	果の向上余地	一般財団法人花巻市体育協会や市内競技団体等で構成するはなまきスポーツスングンショングラーローを挟たし、スポーツを通じた交流人口の拡						
有効性	Ш	向上余地がある	↑ーツコンベンションビューローを核とし、スポーツを通じた交流人口の拡						
催	Ш	向上余地がない							
Ш	Щ								
<u>,</u>	事第	業費・人件費の削減余地	│ 大規模スポーツ大会・イベントやスポーツ合宿の誘致や開催支援を先導 │ │しているスポーツコンベンションビューローは、市体育協会に事務局を置 │						
効率性	Ш	事業費の削減余地がある	┧き、各競技団体や中央競技団体等との連携により少人数での運営に努めて ┃ ┃						
性	Ш	人件費の削減余地がある	Nる。 						
Щ	لِــا	どちらも削減余地がない							
_	党企	益と負担の適正化余地 「双关機会の日末」の地がまる	│ 花巻市の地域特性を生かし、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿等の │ │誘致により、一層の交流人口の一層の拡大を図る必要がある。						
公平性	\sqcup	受益機会の見直し余地がある							
性	\sqcup	費用負担の見直し余地がある]						
Щ	$\vdash \vdash$	適正である	- ^ ^						
	全	大規模スポーツ大会・イベント コロナウイルス感染拡大に伴じ 	トの入込客数は目標値よりひくいものの年々増加傾向にある。 12月後半からのイベントや大会が中止となった。						
	今年度								
	のし								
	振り返り								
	返								
総									
総合評	H	新刑 コロナウイルス感染症拡大							
猫		などから、その後の市内会場の	の大会・合宿等の中止を余儀なくされ、例年のとおりの事業推進は困難な状 を確認しながら、段階的な事業推進を図りたい。						
	次年度	況となっている。今後の状況を 	F催認しなから、段階的な事業推進を図りたい。						
	度								
	ロにI								
	向けて								
	١٠								

事務事	業評価:	シート		【事後評価】			
会計	款	項	目	事業コー	7,	事業名	
01	10	06	02	104740		スポーツ施設環境整備事業費	
総合計画	分野	03 <i>)</i>	べくり	1	政策	04 スポーツの振興	
計画	施策	03 ナ	、規模ス	ポーツ大会の	開催		
目的	スポーツ施設の環境な利用環境を整えるとともに、大規模大会の開催に備えるため、計画的な施設の改修 や整備を行う。						
対象	市民、全国の都道府県代表選手団						
意図	快適な	環境を整	望えると (ともに、大規	模大	会に備える。	
事業概要	スポーツ施設改修・整備 145,806千円 ・施設の公認料 ・各施設の工事等設計等業務委託 ・各施設の公認更新業務委託 ・各施設の整備業務委託 ・各施設の改修工事 ・各施設の備品購入						

市民参画の 有無

市	民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	・協定	後担	爰・協賛	補助・助成	き 委託	
		活	動指標	単位	単位 区分 H30 H31			R02	
$\lceil 1 \rceil$	施設整備件数(施記	设件数)			件	計画	2.00	10.00	
Ľ					1+	実績	10.00	12.00	
2						計画			
						実績			
3						計画			
3						実績			
		成	果指標		単位	区分	H30	H31	R02
	施設利用者数				1	目標	750,000.0	750,000.0	
'					人	実績	678,639.0	649,437.0	
						目標			
2			実績						
3			実績						
	成果指標の達成度	概ね目	標値どる	おり	目標値よ	り低い			

成身	成果指標の達成度の要因分析(成果指標を設定しない場合は、その理由を記載)								
		、施設改修工事等により(3月2日からは新型コロナウイルスによる)施 目標値より低くなった要因となっている。							
	\(\frac{1}{2}\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}2\) \(\frac{1}	なぜルナスナロのスポールー プロウン ナロが先派によれる佐田大学に							
見	公共関与の妥当性	多様化する市民のスポーツニーズに応え、市民が生涯にわたり年間を通じ て気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりが求められている。							
翌	妥当である	て気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりが求められている。 今後においても、各種大会等の開催に向けて様々なスポーツ施設の環境整							
目的妥当性	見直し余地がある	備は必要である。 							
Ϊ±	妥当でない								
_	成果の向上余地	大規模大会を開催できる施設を整備することによって、施設利用者が増加 することにより、交流人口の拡大が図られる。							
有効	向上余地がある	- ACCIES A CAMPATON MARKET MAR							
性	向上余地がない								
	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある	施設利用状況に応じて必要最小限の整備を行っているが、大規模大会等を 誘致できる施設を整備するためには、最大限の施設整備も必要となる。							
1	どちらも削減余地がない								
	受益と負担の適正化余地	市民が生涯にわたり年間を通じて気軽にスポーツに取り組むことができる							
公平	受益機会の見直し余地がある	環境づくりを進めるため、市内スポーツ施設の整備や改修を行う必要があ							
半	費用負担の見直し余地がある	は適正である。							
'-	適正である								
総合	大規模大会・合宿誘致関連施設 今年 度 の 振 リ リ 返 リ	でで地域スポーツの拠点施設を整備し利用環境の向上が図られた。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
総合評価	今後においても、老朽化が進ん 設改修を図っていく。 次 年 度 に向 け て	プでいる各スポーツ施設について、大規模大会などにも対応した計画的な施							

項目						
- 月 - 月 - 月 - 月 - 月 - 月 - 月 - 月 - 月 - 月	事業コード	事業名				
06 02	104750	田瀬湖ボート場環境整備事業費				
03 人づくり	政策	04 スポーツの振興				
03 大規模ス	ポーツ大会の開催					
スポーツ合宿等の誘致による交流人口の拡大を図るため、田瀬湖ボート場の備品整備を行う。 目的						
市民						
用環境を整え	るとともに、大規	模大会等に備える。				
田瀬湖ボート場環境整備事業 4,656千円 スポーツ施設改修・整備 ・田瀬湖ボート場 競技用備品購入(審判艇1艇等) 事業 概要						
O: O:	06 02 3 人づくり 3 大規模ス 合宿等の誘致 用環境を整え ート場環境整 ツ施設改修・・	06 02 104750 3 人づくり 政策 3 大規模スポーツ大会の開催 合宿等の誘致による交流人口の 田環境を整えるとともに、大規 ート場環境整備事業 4,656日 ツ施設改修・整備				

市民参画の 有無

庸	民協働の形態 共催	実行委員会・協議会	事業協力	・協定	後担	爰・協賛	補助・助成	支託 委託
F		活動指標	単位	区分	H30	H31	R02	
	施設整備件数(工事件数			計画	1.00	_		
1				件	実績	1.00	1.00	
2					計画			
_					実績			
3					計画			
ľ					実績			
		成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
					目標			
Ľ					実績			
<u></u>					目標			
2				実績				
3				目標				
Ľ				実績				
	成果指標の達成度	- 目標値より高い	概ね目	標値どる	おり -	目標値よ	り低い	

成星	成果指標の達成度の要因分析(成果指標を設定しない場合は、その理由を記載)										
施討	施設の環境整備が目的であり、活動指標のみとなります。										
╞	<i>\</i> \\;	共関与の妥当性	多様化する市民のスポーツニーズに応え、市民が生涯にわたり、年間を通								
目的妥当性		妥当である	じて気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりが求められている								
要	\longrightarrow	女ヨ この 5 見直し余地がある	」。今後においても、各種大会等の開催に向けて様々なスポーツ施設の環境 整備は必要である。								
農	\longrightarrow	受当でない 妥当でない	置機は必安である。								
\vdash	-	女ヨでない 果の向上余地	┃ ┃大規模大会を開催できる施設を整備することによって、施設利用者が増加┃								
1 L	リスプ	未の向工示地 向上余地がある	大規模大会を開催できる地域を整備することによって、地域利用者が増加 することにより、交流人口の拡大が図られる。								
有 効 性	\longrightarrow	向上余地がない	-								
性	\vdash	円上ホ地/J:/みV:	-								
\mapsto	東洋	 業費・人件費の削減余地	 施設利用状況に応じて必要最小限の整備を行っているが、大規模大会等を								
1 L	* *	*員・人行員の削減赤地 事業費の削減余地がある	「施設利用状況に加して必要最小限の整備を行っているが、人気候人会等を 一誘致できる施設を整備するためには、最大限の施設整備も必要となる。								
効率	\longrightarrow	人件費の削減余地がある	1								
性	\longrightarrow	どちらも削減余地がない	-								
\mapsto	四.	こちらも削減赤地がない 益と負担の適正化余地	┃ ┃市民が生涯にわたり年間を通じて気軽にスポーツに取り組むことができる┃								
	文山	一受益機会の見直し余地がある	環境づくりを進めるため、市内スポーツ施設の整備や改修を行う必要があ								
公平性	\longrightarrow	費用負担の見直し余地がある	」る。また、大規模大会等の会場地として競技会場の整備費を負担すること は適正である。								
[生]	\longrightarrow	資用負担の兄直し赤地がのる 適正である									
\mapsto	${}$		┃ D事前キャンプを実施するにあたり、日本ポート協会より、コーチングボー┃								
		トの確保を要望されていたこと	ヒからモーターボート1艇を新たに購入した。必要な艇数の確保により、オー								
	今 年	リンピック事前キャンプはもと	とより、毎年日本代表の強化合宿誘致が可能であるとともに大学・高校のボー いボート競技大会運営の効率化が期待される。								
	度の	一ト日伯の説女が囚られるはか	、ハート脱扠人云連昌の刈空10万期1寸C1vg。 								
1 1	振										
1 1	l ()	1									
1	返り	1									
総合評	, 1	1									
評	\Box	田瀬湖ボート場施設、備品等を	を整備したことにより、ボート場としての機能向上が格段に図られた。								
1曲		┃ 今後は、田瀬湖ボート場の特性	生を活かし、日本代表の強化合宿、高校・大学の合宿等を誘致し有効活用を								
1)	次年度	図る。 									
	度	1									
	に向	1									
1 1	け	1									
	て	1									
		l									
	$\overline{}$										

 事務事業評価シート
 【事後評価】

 会計
 款
 項
 目
 事業コード

01	10	06	01	1049	20	イン	ターハイ	開催事業	 美費				
総合	分野 03 人づくり 政策 04 スポーツ							の振興					
計画	施策 03 大規模スポーツ大会の開催												
目的	全国高等学校総合体育大会(インターハイ)ハンドボール競技を開催するため、実行委員会を設置し、円												
対象	インターハイ参加者(選手、役員)、運営スタッフ、高校生												
意図	交流人口の拡大を図り、スポーツに接する機会を提供する。 意図												
事業概要													
市民参有無		象外											
市民協	働の形態	共作		行委員会	・協議会	À	事業協力			爰・協賛	Ц,	補助・助成	
 	111187	1 44	活動	指標				単位	区分	H30	_	H31	R02
1 人芸	出場チー	- 公奴						団体	計画 実績				
大会	参加人数	Ż						人	計画実績				
3									計画				
3									実績				
			成果	!指標				単位	区分	H30	\Box	H31	R02
1									目標		_		
\vdash									実績		\dashv		
2	2								目標 実績		\dashv		
											\dashv		
3	3								実績		1		
成身	果指標の	達成度	-	目標値	より高い	1	-	概ね目	標値ど	おり	- [目標値よ	り低い

事業名

成果指標の達成度の要因分析(成果指標を設定しない場合は、その理由を記載) 本事業における成果は、大会の開催をもって達成度が図られるものであるため、事業準備期間となる令和元年度 は成果指標を設定していない。

冒	公共関与の妥当性	高速交通網の利便性や全国有数の温泉宿泊施設、充実したスポーツ施設な
目的	妥当である	↑どの地域特性を生かし、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致に ┃ ┃より、交流人口の一層の拡大を図ることができる。
妥当性	見直し余地がある	より、文加入日の 眉の加入を図ることが ここう
性	妥当でない	
	成果の向上余地	高等学校体育連盟、ハンドボール協会及び岩手県等と連携し、スポーツを
有効	向上余地がある	通じた交流人口の拡大を図ることができる。
徴	向上余地がない	
	事業費・人件費の削減余地	競技団体等との連携のもと、事業費も節減し、少人数での運営に努めてい
効率	事業費の削減余地がある]6.
性	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	花巻市の地域特性を生かし、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿等の誘
公平性	受益機会の見直し余地がある	致により、一層の交流人口の一層の拡大を図ることができる。
性	費用負担の見直し余地がある	
	適正である	
総合評	今年度の振り返り 会を開催に開始さ、9月末の段号では、 会を開催でする。 会を開催に開催さ、9月末の段号である。 中国では、1000円では、10	、啓発看板を設置及び市内スポーツイベントにおいてPRブースを設けて周 │ ┃ ボール協会と連携し、市内中高校生ハンドボール部員を対象とした技術強化
評価 	4月から大会開催にあたって役 ウイルス感染症が世界的に蔓延 次 年度 に向けて	设員編成や各種契約事務など準備が本格化する予定であったが、新型コロナ 近したことに伴い、4月26日に令和2年度全国高等学校総合体育大会(イ 亡。